

信州大学

【N04 1 信州大学】

	信州大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	医学部保健学科 看護学専攻（第1年次：70名、第3年次：10名） 検査技術科学専攻（第1年次37名、第3年次：3名） 理学療法学専攻（第1年次18名、第3年次：2名） 作業療法学専攻（第1年次18名、第3年次：2名） 医学系研究科保健学専攻（M：14名、D：4名）（保健学専攻全分野の合計）
沿革・設置目的	信州大学医学部附属看護学校、附属助産婦学校、附属衛生検査技師学校を経て信州大学医療技術短期大学部が設置された後、理学療法学科・作業療法学科を増設、平成14年、看護学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。 昭和24年（1949年） 信州大学設置 昭和26年（1951年） 医学部附属看護学校設置 昭和38年（1963年） 医学部附属助産婦学校設置 昭和41年（1966年） 医学部附属衛生検査技師学校設置 昭和58年（1983年） 医療技術短期大学部に理学療法学科・作業療法学科を増設 平成14年（2002年） 医学部保健学科設置 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成19年（2007年） 大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）設置（平成21年（2009年）に博士課程後期を設置）
強みや特色などの役割	○ 学年横断型ゼミや学科・専攻を越えた臨床研究の発信に重きを置いた教育・研究により、豊かな人間性と高度な専門性、チーム医療の実践力、広い学問的視野や課題探求力を備えた医療人の育成を行う。大学院を中心に、科学的根拠に基づく実践的研究成果を発信し、看護や検査技術、理学療法・作業療法の発展に寄与できる教育者や研究者の育成を推進する。 ○ 看護職の地域偏在に対する取組や周産期医療を支える助産師の確保及び質の向上、健康寿命延伸や医療過疎対応に寄与できる保健師の育成、障害のある人のみならず、健康な高齢者への支援をも担う理学療法士・作業療法士の育成等を通じ、少子高齢化が進む長野県の医療を支えるとともに、新たなモデルの構築を目指す。

	○ 広域な長野県の各エリアにアンテナを有する分散型キャンパスのメリットを活かした学内外の多方面にわたる連携や、長寿県・長野の特徴を活かした、地域住民の能動的な保健行動を推進するための拠点形成の取組や、高齢者や障害者の支援機器等の開発・研究を初めとする学際的取組を積極的に展開し、その成果を国内外へ広く発信する。
--	--